



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月4日

上場会社名 日本ユニシス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8056 URL <https://www.unisys.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岡 昭良
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 澤上 多恵子 TEL 03-5546-7404
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	218,901	10.1	16,504	36.4	17,357	37.8	11,882	31.7
2019年3月期第3四半期	198,886	1.2	12,100	28.3	12,592	27.7	9,024	33.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 11,221百万円 (28.5%) 2019年3月期第3四半期 8,733百万円 (△21.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	118.41	117.99
2019年3月期第3四半期	89.94	89.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	203,960	121,548	58.7
2019年3月期	211,421	116,615	54.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 119,672百万円 2019年3月期 114,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2020年3月期	—	32.50	—		
2020年3月期(予想)				37.50	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	314,000	5.0	25,000	21.2	25,900	26.2	17,500	22.9	174.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	109,663,524株	2019年3月期	109,663,524株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	9,310,479株	2019年3月期	9,315,429株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	100,351,687株	2019年3月期3Q	100,335,144株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国際情勢や海外経済の動向、国内の消費税引き上げに伴う消費者動向への影響が懸念されたものの、雇用・所得環境の改善が続く中で、引き続き緩やかな景気回復基調にありました。

国内の情報サービス市場においては、情報システム投資が堅調に推移しておりますが、異業種からの参入による競争は激しくなると見込まれ、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況であると認識しております。

このような環境の中、日本ユニシスグループは、「顧客・パートナーと共に社会を豊かにする価値を提供し、社会課題を解決する企業」として、業種・業態の垣根を越え、さまざまな企業をつなぐビジネスエコシステムを創る中核となり、デジタルトランスフォーメーション^{注1}を実現するプラットフォームの提供企業となることを目指した中期経営計画「Foresight in sight[®] 2020」（2018-2020年度）を策定し、重点施策に取り組んでおります。

中期経営計画で定めた4つの注力領域においては、対応する社会課題により、それぞれの領域の垣根を越えてクロスファンクショナルに活動しております。主な取り組みとして、エネルギーマネジメントの分野において、昨年度、関西電力株式会社と共同で実施したブロックチェーン技術を活用した太陽光発電等の電力直接取引の実証研究をさらに高度化させ、発電によって生じた「環境価値」の売買価格の決定や「RE100」企業向けに環境価値取引ができるシステムの実証研究を2019年12月より開始いたしました。本実証研究を通じて、環境価値取引にかかる知見を得るとともに今後はRE100に加盟する企業と連携を進めていくことで、エネルギーを効率的に活用する社会の実現に貢献してまいります。

また、当社が2018年3月から運営している「VR でマイホームをつくる」をコンセプトとしたバーチャル住宅展示場「MY HOME MARKET[®]」^{注2}は、新たに楽天市場への出店を開始いたしました。楽天市場への出店により、利便性がより多くの消費者に認知され、住宅購入のスタイルが変化していくことを期待しております。

その他の注力領域ビジネスでは、金融業務の顧客接点を強化するフロント系Webシステムの刷新を始めとした、デジタルトランスフォーメーション関連のビジネスが積み上がっており、カーシェアやドライブレコーダーを中心としたモビリティ関連ビジネスも堅調に推移しております。

一方、ICTコアビジネスでは、金融や製造業など幅広い業種のSI型ビジネス案件やITインフラ向けの製品販売が堅調に積み上がっており、システムエンジニアの稼働率は引き続き高い水準で推移しております。案件のリスクを慎重に見極めつつ、知財の共有やリユースなど、システム開発や運用における生産性向上に向けた取り組みを継続してまいります。

また、投資面においては、2019年11月にAIアルゴリズム開発、ビッグデータ分析に強みを持つ株式会社ALBERTと資本業務提携を結びました。今後、流通事業や輸送・エネルギー事業等のインフラ領域を起点として、日本ユニシスグループの既存顧客や潜在顧客に対して、AIや分析技術を活用した新規事業及びプロダクト開発の共同提案を進めてまいります。

風土改革に関しては、業種・業界の枠にとらわれず多様な価値を持つステークホルダーをつなぎビジネスエコシステムを創出するため、ダイバーシティ推進を進めていますが、女性社員の人財パイプライン構築を目的とした研修・OJT等の育成プログラムやテレワーク等による多様で柔軟な働き方の推進、法定を上回る短時間勤務や産休・育休ワークショップ等による両立支援の取り組みが評価され、「女性が輝く先進企業表彰」^{注3}において「内閣府特命担当大臣(男女共同参画)表彰」を受賞いたしました。

今後も、女性活躍をはじめとするダイバーシティをより一層推進し、多様な「個」が活かされる風土の醸成を進めてまいります。

以上のように、中期経営計画「Foresight in sight 2020」の達成に向けて日本ユニシスグループ一体となって取り組んでおります。

(注) 1. デジタルトランスフォーメーション：企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

2. MY HOME MARKET：当社が展開する、スマートフォンなどのデジタルデバイスからVR上でモデルハウスを疑似体験することで理想の家づくりをサポートするサービス。

3. 女性が輝く先進企業表彰：女性が活躍できる職場環境の整備を推進するため、役員・管理職への女性の登用に関する方針、取り組み及び実績並びにそれらの情報開示において顕著な功績があった企業を表彰するもので、「女性が輝く社会」の実現に寄与することを目的とし、2014年に創設されている。
4. 記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、システムサービス、ソフトウェア、ハードウェア販売等が堅調に推移した結果、2,189億1百万円（前年同期比10.1%増加）となりました。

利益面につきましては、研究開発費の増加があった一方、システムサービスやアウトソーシングの増収に伴う利益増加や、収益性の改善等により、営業利益は165億4百万円（前年同期比36.4%増加）、経常利益は173億57百万円（前年同期比37.8%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は118億82百万円（前年同期比31.7%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、売掛金の減少等により、前連結会計年度末比74億60百万円減少の2,039億60百万円となりました。

負債につきましては、買掛金および有利子負債の減少等により、前連結会計年度末比123億94百万円減少の824億12百万円となりました。

純資産につきましては、1,215億48百万円となり、自己資本比率は58.7%と、前連結会計年度末比4.5ポイント増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内の情報サービス市場においては、情報システム投資が堅調に推移しております。日本ユニシスグループにおいても、主にシステムサービス、ソフトウェア、ハードウェア販売などのセグメントを中心に、受注環境が良好であり、業績が堅調に推移していることなどを踏まえ、通期の連結業績予想および個別業績予想を下記のとおり修正いたします。

(通期) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2019年11月6日発表)	307,000	23,000	22,800	16,000	159.44
今回修正予想 (B)	314,000	25,000	25,900	17,500	174.39
増減額 (B-A)	7,000	2,000	3,100	1,500	—
増減率 (%)	2.3	8.7	13.6	9.4	—
前期実績	299,029	20,622	20,515	14,238	141.90

(通期) 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2019年5月9日発表)	180,000	13,500	19,200	15,000	149.48
今回修正予想 (B)	181,000	14,500	20,000	15,200	151.46
増減額 (B-A)	1,000	1,000	800	200	—
増減率 (%)	0.6	7.4	4.2	1.3	—
前期実績	175,298	12,793	18,269	13,886	138.40

また株主還元については業績連動による配分を基本として、キャッシュ・フローの状況や成長に向けた投資とのバランス、経営環境などを総合的に考慮して利益還元方針を定めており、今中期経営計画期間においては、連結配当性向40%を目処としております。この基本方針及び当期の業績予想の修正を踏まえ、期末配当予想を下記のとおり修正いたします。

配当予想

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想 (2019年11月6日発表)		32.50	65.00
今回修正予想		37.50	70.00
当期実績	32.50		
前期実績 (2019年3月期)	25.00	30.00	55.00

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,200	26,190
受取手形及び売掛金	72,479	52,271
商品及び製品	8,248	12,457
仕掛品	1,947	5,131
原材料及び貯蔵品	86	71
その他	18,364	22,525
貸倒引当金	△56	△48
流動資産合計	128,270	118,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,082	3,864
機械装置及び運搬具(純額)	6,670	5,889
その他(純額)	3,496	3,123
有形固定資産合計	14,249	12,878
無形固定資産		
のれん	1,288	1,618
ソフトウェア	19,982	18,519
その他	102	93
無形固定資産合計	21,373	20,231
投資その他の資産		
投資有価証券	23,854	27,056
繰延税金資産	1,656	531
退職給付に係る資産	7,087	8,505
その他	15,237	16,455
貸倒引当金	△307	△297
投資その他の資産合計	47,528	52,252
固定資産合計	83,151	85,361
資産合計	211,421	203,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,009	17,527
1年内返済予定の長期借入金	5,255	5,180
未払法人税等	2,905	450
未払費用	11,155	6,538
前受金	15,761	20,905
請負開発損失引当金	652	529
その他の引当金	1,555	892
その他	11,304	12,537
流動負債合計	74,600	64,560
固定負債		
長期借入金	16,635	13,913
引当金	416	208
退職給付に係る負債	614	642
資産除去債務	1,131	1,146
その他	1,408	1,942
固定負債合計	20,206	17,852
負債合計	94,806	82,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,483	5,483
資本剰余金	14,909	14,909
利益剰余金	97,893	103,500
自己株式	△13,540	△13,534
株主資本合計	104,745	110,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,561	6,940
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△31	△76
退職給付に係る調整累計額	3,361	2,450
その他の包括利益累計額合計	9,892	9,314
新株予約権	432	474
非支配株主持分	1,544	1,401
純資産合計	116,615	121,548
負債純資産合計	211,421	203,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)
売上高	198,886	218,901
売上原価	148,571	163,047
売上総利益	50,314	55,854
販売費及び一般管理費	38,214	39,349
営業利益	12,100	16,504
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	465	486
偶発損失引当金戻入益	87	485
その他	186	242
営業外収益合計	745	1,220
営業外費用		
支払利息	73	64
和解金	-	178
投資事業組合運用損	113	98
その他	66	25
営業外費用合計	253	367
経常利益	12,592	17,357
特別利益		
投資有価証券売却益	95	118
その他	-	0
特別利益合計	95	118
特別損失		
減損損失	89	284
投資有価証券評価損	251	315
その他	16	43
特別損失合計	357	643
税金等調整前四半期純利益	12,329	16,832
法人税、住民税及び事業税	272	2,184
法人税等調整額	2,941	2,844
法人税等合計	3,213	5,029
四半期純利益	9,116	11,803
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	91	△79
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,024	11,882

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	9,116	11,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△721	377
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	-	△15
退職給付に係る調整額	393	△911
持分法適用会社に対する持分相当額	△54	△31
その他の包括利益合計	△382	△581
四半期包括利益	8,733	11,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,641	11,303
非支配株主に係る四半期包括利益	91	△81

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。